

議会広報

第27号

2012.10.25

# おみたま

9  
月  
定  
例  
会

平成23年度の全会計を認定 (H23決算) P 2-3

議案等の審議結果 (全39件) P 4

今後の医療センターの指定管理は (委員会QA) P 5-7

9人が市政を問う (一般質問) P 8-16

視察報告、プレゼンクイズ、市民の声ほか P 17-20

(10月6日 羽鳥保育所運動会)

# 平成 23 年度 一般会計決算

# 214 億円は何に使われたのか！

## 平成 23 年度の注目事業！！

- 堅倉小学校校舎改築工事
- 小川北中学校校舎改築工事
- 元気再生プレミアム商品券発行事業補助金
- 「空の駅」整備事業
- かしてつ跡地バス専用道路整備事業
- 広域幹線道路整備事業
- 合併特例推進事業
- 災害復旧事業耐震化
- 防災対策事業
- 災害見舞金事業



小川北中学校 新校舎 (平成 24 年 10 月 30 日使用開始)

## 平成 23 年度決算 全 10 会計総額

歳入 351 億 2,586 万円、歳出 331 億 7,934 万円



平成 24 年第 3 回定例会は、9 月 6 日から 25 日までの 20 日間の会期で開かれ、今定例会では、平成 23 年度決算認定を含む 39 件の議案等について審議しました。また、9 月 11 日、12 日には、9 人の議員が一般質問に立ち、市政を質しました。

### 9 月定例会 日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
6 日	本会議 (開会、議案上程、質疑、討論、採決)	6 名
11 日	本会議 (一般質問)	5 名
12 日	本会議 (一般質問、質疑、委員会付託)	10 名
13 日	総務常任委員会	-
18 日	産業建設常任委員会	-
19 日	産業建設常任委員会	-
20 日	文教福祉常任委員会	-
21 日	文教福祉常任委員会	-
24 日	議会広報特別委員会 新市建設計画推進特別委員会	-
25 日	議会運営委員会 本会議 (報告、質疑、討論、採決、閉会)	5 名

▲ 決算審査は常任委員会ごとに行った (文教福祉常任委員会)

# 平成 23 年度 全会計決算を認定！

会計別		歳入	歳出	内容	
一般会計		230億7,993	214億5,100	歳入@ 42万9千円（前年比 24,904円・6.2%↑） 歳出@ 39万9千円（前年比 13,418円・3.5%↑）	
特別会計	国民健康保険	（事業勘定）	58億7,671	57億5,425	加入世帯 8,939、被保険者 17,866 人、保険税@ 86,317 円 医療費@ 252,658 円、特定検診受診率 32.3%
		（白河診療所）	1億9,264	1億7,001	診療件数 9,944 件（前年比 229 件↓）
	後期高齢者医療保険	3億4,687	3億4,501	保険料@ 38,390 円、医療費@ 602,271 円	
	介護保険	（事業）	28億3,832	27億8,615	月平均被保険者 970 人、月平均要介護認定者 129 人（認定率 13.2%）
		（サービス）	470	337	保険料@ 41,751 円、給付費@ 184 万 6 千円 高齢化率 22.1%（前年比 2.8%↑）
	下水道	18億6,487	18億845	処理区域 100.41ha、普及率 37.2%（前年比 3.9%↑）	
	農業集落排水	8億3,652	7億8,087	処理区域 317ha、普及率 6.4%（前年比 1.5%↓）	
	戸別浄化槽	7,023	6,802	29 基を設置（5 人槽 21 基、7 人槽 7 基、10 人槽 1 基）	
霊園	1,505	1,216	36 区画の新規利用申込		
企業会計	病院	収益的収支	2億6,961	2億1,188	外来患者数 49,887 人（前年比 2,465 ↑） 入院患者数 14,050 人（前年比 848 ↑）
		資本的収支	2,923	8,468	病床利用率 48.0%（前年比 6.2%↑）
	水道	収益的収支	7億5,661	6億5,589	給水件数 14,319 件、給水人口 42,050 人（普及率 94.4%） 総配水量 453 万 m <sup>3</sup> （前年比 33,328 m <sup>3</sup> ↓）、有収率 82.3%
		資本的収支	4億5,700	6億8,014	1 日平均配水量 12,383 m <sup>3</sup> 、施設利用率 74.2%

（単位：万円） \* @マークは市民 1 人当たりの額を表しています。

## 市財政の健全度チェック！ 市が抱える借金・将来負担は？

**実質公債費比率 9.5%**

**将来負担比率 113.8%**

「今、返済している借金は？」

「将来負担していく借金は？」

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H23	9.5%	34位	10.4%	25% (18%)*
H22	11.5%	27位	11.1%	
H21	13.5%	16位	12.0%	

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H23	113.8%	8位	63.6%	350%
H22	118.6%	6位	73.7%	
H21	122.5%	9位	86.6%	

\* 順位・平均は、県内 44 市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い。

### ◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのかを見る比率です。この過去 3 年（平成 21～23 年度）の平均値になります。この数値が高いということは、国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

\* 早期健全化基準が 18% に達した場合は、新たな借金をする際に許可を要するなど一部制限となる。

### ◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのかを見る比率です。借金が将来にわたり財政に与えていく影響の大きさが分かります。

これを家計に例えると、借金（連帯保証人として潜在的な債務も含む）が、年収の何倍に相当しているのかといった感じになります。（113.8% は、家計に例えると年収の約 1.14 倍）

9月 定例会 審議結果 (全 39 件)

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
<b>■ 条例の制定・改正等 (8 件)</b>			
65	スポーツ交流施設条例 (制定) ~生涯スポーツ社会の推進を図るための交 流施設の設置に伴うもの~	◎	文 ◎
66	病院事業の剰余金の処分等に関する条例 (制定) ~地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図 るための関係法律の整備に関する法律の施行による地方公 営企業法の一部改正に伴い、新たに制定するもの~	◎	文 ◎
67	水道事業の剰余金の処分等に関する条例 (制定) (同上)	◎	産 ◎
68	防災会議条例 (一部改正) ~災害対策基本法の一部改正によるもの~	◎	総 ◎
69	災害対策本部条例 (一部改正) (同上)	◎	総 ◎
70	市税条例 (一部改正) ~固定資産税の減免要件の追加~	◎	総 ◎
71	基金条例 (一部改正) ~スポーツの振興等に係る基金を設置するため~	◎	文 ◎
72	火災予防条例 (一部改正) ~対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器 具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省 令の一部を改正する省令の公布に伴うもの~	◎	総 ◎

■ 平成 24 年度補正予算 (11 件)

73	一般会計 [補正額] 1 7 億 9, 2 8 2 万 5 千円 ↑	◎	各 ◎
74	国民健康保険特別会計 [事業勘定] [補正額] 9, 7 7 7 万 9 千円 ↑ [診療施設勘定 (白河診療所)] [補正額] 3 2 3 万 5 千円 ↓	◎	文 ◎
75	後期高齢者医療保険 [補正額] 1 1 万 5 千円 ↑	◎	文 ◎
76	下水道事業 [補正額] 3 5 0 万 7 千円 ↑	◎	産 ◎
77	農業集落排水事業 [補正額] 7 2 万 5 千円 ↑	◎	産 ◎
78	戸別浄化槽事業 [補正額] 4 0 万 7 千円 ↑	◎	産 ◎
79	霊園事業 [補正額] 2 8 8 万 6 千円 ↑	◎	総 ◎
80	介護保険 [介護保険事業勘定] [補正額] 2, 9 6 5 万 6 千円 ↑ [介護サービス事業勘定] [補正額] 1 3 2 万 2 千円 ↑	◎	文 ◎

審議結果の表記・見方

[審査委員会] 総：総務、文：文教福祉、産：産業建設  
各：各所管委員会 [賛否] ◎：全会一致で可決(または承認、  
同意、採択)、○：賛成多数で可決、

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
81	病院事業 [補正額] 1 5 7 万 4 千円 ↑ [資本的収入及び支出] 1, 6 8 9 万 5 千円不足 * 不足分は 過年度分損益勘定留保資金で補てん	◎	文 ◎
82	水道事業 [収益的支出] [補正額] 1, 2 1 1 万円 ↑ [資本的支出] [補正額] 8 4 7 万円 ↑	◎	文 ◎
99	一般会計 (追加) [補正額] 2,800 万円 ↑	◎	産 ◎

■ 平成 23 年度決算 (10 件)

83	一般会計	○	各 ◎
84	国民健康保険	◎	文 ◎
85	後期高齢者医療保険	◎	文 ◎
86	下水道事業	◎	産 ◎
87	農業集落排水事業	◎	産 ◎
88	戸別浄化槽事業	◎	産 ◎
89	霊園事業	◎	総 ◎
90	介護保険	◎	文 ◎
91	病院事業	◎	文 ◎
92	水道事業	◎	産 ◎

■ 請願・陳情 (4 件)

2	教育予算の拡充を求める請願 紹介議員：市村文男	◎	文 ◎
3	花野井川の護岸改修に関する請願書 紹介議員：荒川一秀	◎	産 ◎
2	(仮称) 小美玉市「空の駅」整備事業に 係わる加工施設建設に関する陳情書	◎	産 ◎
3	(仮称) 小美玉市「空の駅」整備事業に 係わる加工施設建設に関する陳情書	◎	産 ◎

■ その他 (6 件)

93	動産の買入れ契約の締結 消防ポンプ自動車の購入	◎	総 ◎
94	市道路線の認定 ~羽鳥地内の宅地開発事業に伴い、市道美 1625 号線、 市道美 1626 号線を認定するもの~	◎	産 ◎
95	市道路線の廃止 ~払い下げに伴い、小美玉市道小 10754 号線を廃止するもの~	◎	産 ◎
96	茨城県後期高齢者医療広域連合の規約変更 ~住民基本台帳法の一部改正に伴い、外国人住民について も住民基本台帳法の適用対象となることから、規約の一部 変更を行うもの~	◎	文 ◎
97	指定管理者の指定について (追加) ~小美玉市医療センターに係る指定管理者 の議決を求めるもの~	◎	文 ◎
98	教育委員会委員の任命 (追加) ~前委員の任期満了に伴い、加瀬 博正 氏を任命~	◎	- -

# 委員会審査Q&A

## 各委員会に付託された38議案を審査

本会議で付託された38件の議案について、13日から21日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。各常任委員会で審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

### 総務

#### 固定資産税の減免

##### 対象範囲を拡大

Q 今回の市税条例の改正内容は？

A 単独の火災、文化財及び小規模施設等を固定資産税の減免対象に適用させるためのもの。

Q 対象に想定される小規模共有施設とは？

A 住宅等を部屋付き高齢者グループホームや障害者グループホーム等として利用した場合と、地区が防災倉庫や低地での浸水災害の避難施設等を設置した場合を想定している。

#### 放射線対策事業の補正

Q 放射線対策事業739万8千円の増額補正のの中身は？

A 子どもたちの施設に対する除染作業委託料、放射性物質を含む汚泥の汲取りや、農業集落排水事業のコンポストの放射線検査及び学校給食のまるごと検査の手数料となっている。



市内保育所の放射線測定作業

#### 有害鳥獣捕獲駆除の現状

Q 効果はあったか？

A 23年度は、2月から3月の2カ月間の実施で、イノシシ4頭、カラス122羽、対象外の野犬14頭を捕獲駆除した。今年度、イノシシについては8月から10月までの3カ月間実施している。既に、竹原、宮田、三箇の3カ所でイノシシ4頭を捕獲駆除した。

#### 放射線測定器の貸出し状況等

Q 貸出し状況は？

A 23年度は、11月14日から3月31日までに555件、24年度は、9月11日現在で666件の貸出しを行ってきた。現在は予約申し込みも落ち着いた状況となっている。

Q 除染に関する相談は？

A 一般の住宅地の除染等についてはマニュアル等を配付し、必要な物品（ブルーシート、土のう袋、軍手、マスク等）を現物支給として配布する対応をしている。23年度は現物支給が34件あった。また、一部企業等からも除染等の相談があり、高性能測定器を持ち込み、線量の測定を行い、除染等の相談

を受け、さまざまな情報提供を行った。

### 文教福祉

#### 竹原小学校の改築工事に向け設計費を計上

Q 竹原小学校プール解体工事設計委託料が計上されているが、プール解体の理由は？

A 校舎改築に伴うもので、運動場の広さを確保するため。

Q 水泳の授業は今後どうなるのか？

A 市内の公共のプールを使用し、授業を行うことになる。



竹原小学校前庭から（右側がプール）

スポーツ交流施設条例を制定

Q スポーツ交流施設とは？

A 本田昌也様から寄付申込みのある小川地内の土地・建物。当施設は、寄付者の意向により、市のスポーツを通じてまちづくりと青少年の健全育成とともに、生涯スポーツの推進を目的として利活用する。

Q 当施設の管理運営は？

A これから創設されるNPO法人が管理する予定。当法人は、多目的のスポーツプログラムを多年代の市民に提供する総合型地域スポーツクラブを運営するとともに、女子中学生を対象としたサッカー選手を育成するフットボールアカデミーも、当施設を拠点に運営していく予定である。

Q NPO法人の運営に市が関われるのか？

A 運営内容や業務内容等については、市が積極的に関与し、主導権を持って指導する。今後、協定書等により明確にしていく。

○ 市民がスポーツに親しむための事業を積極的に展開してほしい。

※「総合型地域スポーツクラブ」とは：日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、1995年より文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つ。幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブをいう。



寄付申し出のあったスポーツ交流施設(小川地内)

医療センター 来年度からの指定管理者選定

Q 25年度からの指定管理者候補として、「医療法人財団 古宿会」が選定された。契約年数はこれまで5年であったものを10年に長期化した理由は？

A この5年間を踏まえると、市民が安心して医療を受けられるためには、長期契約が望ましいと考えたため。

Q 古宿会の指定管理料計画では、初年度2億円、次年度から9年間1億5千万円ずつとなっている。財政難の折、市からの支出を最小限にとどめるには、病院の規模縮小も考えたほうがいいのでは？

A 地域医療の充実と、地域住民の希望を考えると、もとの病院である国保中央病院での診療体制を維持していきたい。なお、契約内容は5年後に一度見直しをする予定なので、そのときの社会情勢、病院の経営状況を見て、指定管理料は判断していくことになる。

産業建設

「空の駅」整備事業関連

Q 空の駅整備事業の開業時期は？

A 工期や従業員の教育等を考え、当初の25年9月から26年2月オープン予定とした。

Q (仮称)「空の駅」の名称は？

A 市民に浸透している「空の駅」という名称は残し、愛称として名前を公募したい。

Q 小美玉市地域再生協議会とは？

A 食のアドバイザー、料理研究者、農業者や商業者をメンバーとした、市内で生産された食材を使い、小美玉ブランド開発を推進する組織。



料理研究家などのアドバイスで小美玉ブランド開発に挑む

企業誘致

Q 空港テクノパークへの企業誘致に関する茨城県との連携状況は？

A 空港テクノパークは茨城県の所有の工業団地。本市は東証1部上場企業3,300社に対しアンケート調査を行い、空港テクノパークへの進出の可能性を探った。今後は県と情報を共有しながらいろいろな提案をしていきたい。

## 道路・上下水道等

**Q** 小川地区にある赤身地藏尊下の  
法面工事について

**A** 年度内完成を目指している。コンクリート柵を作り、その中に植栽する急傾斜地等の整備のやり方で行う。

**Q** 市道10911号線の進捗状況は？

**A** 羽鳥駅から通称ケヤキ通りを通って世楽地内までの道路を、県道石岡紅葉線まで延長を予定している道路。今年度第1期として、佐才コミュニティセンター付近までの用地取得を予定している。

**Q** 下水道事業の進捗状況について

**A** 整備率は23年度末で美野里地区が97・7%、小川地区が71・7%、玉里地区が89・7%で、全体では89%になる。

**Q** 広域幹線道路田木谷・上玉里線、栗又四ヶ線の進捗状況は？

**A** 田木谷・上玉里線については用地取得率95%で、栗又四ヶ線については今年秋から用地取得を実施する

予定。両路線とも27年度供用開始を目指している。

**Q** 農業集落排水事業の加入率改善の対策は？

**A** 経済的、地域における住宅事情等で難しい面もあるが維持管理組合役員の方々と話し合いを行い、加入率改善を図っていきたい。また、市が接統者へ補助する財源である森林湖沼環境税の継続審議がなされているため、県と協議して対策を考えていきたい。

**Q** 水道事業で県から水を購入している割合は？

**A** 1日2000tで全体の3%程度、年間995万3千円の支出になっている。

**Q** 水道事業において、石綿管更新の国の補助がなくなるが？

**A** 23年度で国の補助が無くなった。今後は道路改良工事、下水道整備工事と併せて布設替工事を実施するなど、より経済効率を考え実施していきたい。

**Q** 小美玉市公有財産取得審査会及び市道認定審査会の構成は？

**A** 会長が副市長、事務局が管財検査課、その他関係課長で組織している。

## 一般質問

# 市民の声を市政に

平成24年第3回定例会で行われた一般質問では、9人の議員が市政に関する質問や提言を行いました。全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は12月ごろに発行の予定です。



- ◇ 山本 信子 (8 ページ)
- ◇ 谷 仲 和 雄 (9 ページ)
- ◇ 福 島 ヤヨヒ (10 ページ)
- ◇ 木名瀬 幸 吉 (11 ページ)
- ◇ 長 島 幸 男 (12 ページ)
- ◇ 小 川 賢 治 (13 ページ)
- ◇ 中 根 要 樹 (14 ページ)
- ◇ 関 口 輝 門 (15 ページ)
- ◇ 戸 田 見 成 (16 ページ)

(※一般質問は、次ページから)

ブックスタート事業の開始は

予定通り、9月から開始する

**Q** (以前に質問した)ブックスタート事業は予定通り9月に開始されるよう、準備は整ったか。これまでの準備の経過と、いつから、どのような形で始めるのか、その内容を伺いたい。

**A 教育次長** 予定通り9月から、市の4〜5カ月児健診の各会場(毎月1回)で行っていく。事業の実施に当たっては、保健師との協議や調整、ボランティアの募集や研修を行ってきた。

具体的には、事業をスタートさせるための環境づくりを5月から8月にかけて、ボランティアと共に「絵本の読み聞かせ」を行い、現在、スケジュールや健診会場の最終確認をしている。

開始は、9月26日の玉里保健福祉センターでの4〜5カ月児健診からで、24年4月1日以降に生まれた乳

健やかな成長を願って(4〜5カ月児健診)



児とその保護者を対象に読み聞かせの実施と布製のバックに2冊の絵本などを入れた「ブックスタート・パック」の手渡しを行う。



山本 信子

Q胃がん検診にピロリ菌検査の導入を

**A 保険福祉部長** 本市の胃がん検診は、国が定める「がん予防に関する国のガイドライン」に従い、問診及び胃部エックス線検査を採用している。ピロリ菌検査は、菌を除去することにより胃がん死亡率を低下させる効果に関する実証が確立されていないため、胃がん検診の中には位置付けられていない。今後の国の動向なども注視しながら導入については検討していきたい。

○ピロリ菌の感染が胃がんの主な原因であることが明らかになっているので、20歳代のうちに検査が受けられるよう導入を検討してほしい。

Q救急・医療情報管理システムの充実を

**A 保健福祉部長** 現在、本市では一人暮らし高齢者等を対象に209世帯に緊急通報システムが設置されており、異常事態の通報があった場合は、消防本部で通報者の情報が確認できるようにしている。引き続きこのシステムを活用し、一人暮らしの高齢者の緊急時に対応していきたい。また、救急医療情報キットの作成配布については、日常生活で、緊急時の対応に不安を抱えている高齢者や障がい者などに対して、急病や災害時の安全・安心が期待されるので、前向きに検討したい。



乳児健診時に手渡される「ブックスタート・パック」

ブックスタート?・・・赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報が入ったブックスタート・パックを手渡し、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる活動。



# 本市の学力向上に向けた取り組みは

## 基礎的な学習内容の確かな定着に努める



谷仲 和雄

学力向上支援員？・・・学力向上のため、授業や放課後補充を必要とする子どもの個別指導に入ったり、家庭学習の促進の学習相談や支援を行う。24年度からは小学校にも配置。

### ■本市の教育目標

～ 確かな学力と たくましい体をもち 郷土を愛する ところ豊かな人づくり ～

#### 《教育指針》

- ◎ 学ぶ意欲を育み 一人一人の能力や人間性を高める
- ◎ 強い気力や体力をもちたくましく生きる力を育てる
- ◎ 思いやりや連帯感を培い 郷土を愛する心を養う

**Q** 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とした、全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の調査結果、及びその結果を踏まえた、今後の学力向上に向けた本市の取り組みについて伺いたい。

**A 教育長** 本市の小・中学校の調査結果は、国語及び算数・数学の「活用に関する問題」で国の平均正答率を1ポイントから4ポイントほど上回った。また、理科の成績も、本県は全国順位で上位に位置し、本市は、

県を上回った。さらに、前回実施した「22年度の全国調査の結果」と比較しても、全体で約5%、平均正答率がアップしている。

これは、児童生徒の努力はもちろんのこと、教職員の熱心な指導、例えば、ITを活用した分かりやすい授業に取り組んだことや、学力向上支援員の活用等によるきめ細かな学習支援の効果が表れたものと考えられる。今後は、県の平均正答率を下回った「知識」に関する学力を伸ばすため、基礎的・基本的な学習内容の確かな定着に努める。

また、児童生徒のつまずきに、きめ細かく対応するため、結果の分析を十分に行い、教員の指導力を高める研修を充実するとともに、学力向上支援員の更なる活用を推進したいと考えている。また、「家庭学習」の取組を充実させるため、学校と家庭が連携し、学力向上に取り組むことができるよう努める。

○この調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の「成果」と「課

題」を検証し、その改善を図りながら、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること。また、学校における児童生徒への「教育指導の充実」や学習状況の改善等に生かすことである。

今後は、しっかりと基本的な「知識」の学力を伸ばしていくとの明確な答弁をいただいたが、この調査結果を、教育指導の充実や学習状況の改善に反映させ、指導方法の工夫を図りながら、子どもたちの確かな学力の定着、向上につなげていただきたい。



豊かな心をはぐくむ (小学5年生を対象とした自然教室)

幼児教育の行方を問う

地域格差がないよう、教育環境を整備する

**Q** 羽鳥保育所の老朽化が問題となり耐震化が求められていたが、財政的に民営化が進められた経緯と今後の進め方はどのようになるのか。園児や先生への対応は。

小美玉市立羽鳥保育所

**A** 保健福祉部長 法人自らが施設を設置、運営する民設民営方式を考えている。認可保育所または認定子ども園として、現在の羽鳥保育所と同規模で羽鳥駅周辺を計画している。運営主体は公益性の高い法人に限り、保育の取り組みが良好であることを応募要件にし、26年4月開園を予定している。民営化計画については保護者に十分な周知をし、子どもたちや保護者に不安のないよう、また先生方の処遇に対しても十分な協議をし進めていきたい。



福島 ヤヨヒ

**Q** 美野里地区の幼稚園はどう考えているのか、また行政の果たす役割は

**A** 教育次長 美野里地区の幼稚園は昭和47年から55年にかけて建設された園舎で、いずれも老朽化が進んでいるので早急な対応が望まれるが、国の動向がはっきりしないので結論が出ていない状況にある。今後、関係機関と十分な検討をし、市内の各地域間の格差がないよう教育環境の整備に努めたい。

**Q** 医療センターが今後果たす役割は

**A** 保健福祉部長 地域医療の存続を基本に、24時間365日の救急を継続する「いつでも見てもらえる病院」と位置付けて、外来診療の充実に努める。地域の医療機関とも連携し信頼される病院運営に努めたい。

**Q** 小学校卒業までの医療費の無料化を

**A** 保健福祉部長 医療福祉費支給（マル福）は、県の制度に沿って実施しているが、本市では小学校3年生まで

のお子さんには所得が基準額を超えた場合でも、医療費の助成が受けられるよう市独自の制度により実施している。限られた予算をよく検討しながら引き続き福祉の向上につながるよう取り組んでいきたい。

**Q** 新たな見舞金制度の創設は

**A** 保健福祉部長 震災見舞金制度は、時限立法の条例として制定され、本年3月31日をもって効力を失っている。見舞金の支給額は、予算に対し約4割支給した。残った予算は「東日本大震災の発生に伴い、本市内の家屋は少なからず地震の影響を受けている」との状況に鑑み市独自の事業として、本年度の固定資産税を一律2%の減価率により減額しておりその減収分などに充てたい。新たな災害見舞金制度は火災・風水害・震災に対応できる制度として創設に向け検討していきたい。

**Q** 新エネルギー対策は

**A** 市長 太陽光発電システムの設置は30基の予定を超えて申し込みがあり、追加の予算を提案した。限られた予算の中で、こつこつと再生可能エネルギーを掘り起こし知恵を出し合って進めていきたい。

# 防火水槽、消火栓の設置は万全か

## 設置率の低い地区から、順次進める

消防水利?…消防活動を行う際の水利施設のこと、主に、私設消火栓、防火水槽、河川・溝(ほり)等・池等、海・湖、井戸、下水道等をいう。指定した消防水利には標識の設置が義務付けられている。



木名瀬 幸吉

**A 消防長** 市内には20m以上の有効な防火水槽が640箇所、消火栓が1,003箇所設置されており、現在の消防水利の平均設置率は54%である。設置促進については、消防水利基準に基づき防火対象物から消防水利に至るまでの距離が140m以下になるよう、設置率の低い地区から順次進めている。また、老朽化した防火水槽の対応は、年2回の調査を行い、危険と判断した防火水槽

**Q** 防火水槽、消火栓の設置は万全か。また、老朽化した防火水槽は危険なので撤去が必要ではないか。



防火水槽 (鶴田地内)

については修繕等で対応していきたい。  
○老朽化した防火水槽の撤去には、設置率がある程度上がらないと難しいので、更に力を入れて増設をお願いしたい。

### 【市消防署管轄内消防水利現況】

(H24.4.1 現在)

	小川消防署	美野里消防署	玉里消防署	計	
消火栓	419	381	203	1,003	
防火水槽	264	325	51	640	
その他	プール	4	6	4	14
	壕・池	16	8	3	27
	その他	10	0	0	10

**Q** 消火活動後の防火水槽に効率よく水を戻す方法はないか。近くに消火栓を設置できないか。

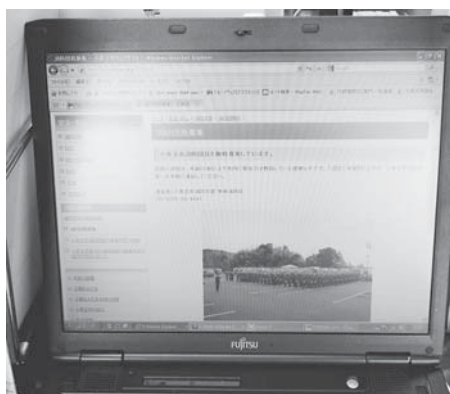
**A 消防長** 消火活動後は、火災発生地区の地元消防団が付近の消火栓や池、河川等の自然水利を活用し、

充水している。また、消火栓の設置基準は140mに水利(防火水槽又は消火栓)1基となっており、今後も水利充足率の低い地区から優先的に設置していくことになるのでご理解をいただきたい。

### Q.消防団員の確保状況は

**A 消防長** 現在、総員580名の体制で災害対応を図っている。条例定数に対し、充足率は92・4%で県平均(91・8%)を上回って推移しており、現場活動には十分対応が図られている。

新入団員の確保については、今後も消防本部ホームページや各分団の積極的な入団促進に取り組んでいく。



新入団員募集の呼びかけ (消防本部 HP)

今後の医療センターの運営方針を問う

来年4月からも、基本的に同じ診療体制で

**Q** 医療センターの指定管理者一般公募の結果と、今後の医療センターの運営は。また、土地と、建物の耐震問題はどうかなるのか。

**A** **保健福祉部長** 一般公募に対する問い合わせは3団体から、実際の申請は2団体からあった。選定は、市の導入指針に基づき、選定委員会で採点方式の審査を行い、得点上位の「医療法人財団 古宿会<sup>ふるしゆくかい</sup>」が候補者に選定された。

古宿会からは、基本的に現在の医療センターが行っている外来、入院とも同じような体制で、当初は6名の常勤医師による総合診療科、外科、内科、整形外科の診療を行い、ほかの科目も非常勤医師を活用し行っていきたいとの提案があった。議決後、現在の管



長島 幸男

理者と新たな管理者との引継ぎが円滑に行われるよう、協議を早急に進めていきたい。

また、土地は、国有地と民地があり、現在払い下げ等の協議は行っていない。建物の耐震問題は本館部分が新耐震基準以前の建物であり、昨年度、耐震診断を実施したところ、耐震補強が必要であるとのことから、新たな管理者と耐震補強について協議、検討していきたい。

**Q** 県立小川高校の跡地利用は

**A** **市長公室長** 25年3月31日に閉校が決定している県立小川高校跡地は、県の再利用計画がなく、本市に県有財産の取得希望の照会があった。現在、市が取得して市民のために活用を図る方向で考えているが、まだ価格の提示がないため、25年3月末まで回答期限の延長を求め調整しているところ。

**Q** 茨城空港からJR羽鳥駅へのバス路線の新設は

**A** **市長公室長** 現在、茨城空港からのバス路線は、石岡駅・水戸駅・つくば駅・東京駅・常陸太田ひたちなか方面の計5路線が運行されている。本市は、合併当初から毎年、茨城県市長会を通じて、県政に対する要望の中で茨城空港関連の環境整備推進のために、茨城空港とJR常磐線羽鳥駅間の連絡バスの運行支援を要望しているが、実現には至っていない。

現在、本市は「公共交通検討委員会」で策定した公共交通の整備方針に基づき、25年度中に循環バスの試験運行を開始する方向で進めている。茨城空港からJR羽鳥駅へのルートも含め、今年度中に運行ルートの設定及び関係機関との調整を進めていきたい。

○ 市の一体感、空港の拠点づくりのためにも、茨城空港からJR羽鳥駅のバス路線の新設を要望する。



今後の利活用は（県立小川高校）

## 羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況は

### 整備を、駅周辺まちづくりの骨格の方針に



小川 賢治

**A 都市建設部長** 基本構想として、駅の橋上化と自由通路のバリアフリー整備、東西駅前広場の再整備、東口市有地の有効活用および周辺幹線道路の整備を骨格の方針として掲げ、羽鳥駅周辺まちづくりの事業推進を図っていく。

**Q** 周辺道路の整備、東口市有地への公共施設整備と、その建設工事概算額の算出は。また、専門プロジェクトチーム推進室の設置は。



羽鳥駅東口市有地付近

工事の概算額は、JR東日本コンサルタントに策定を委託している。参考までに、24年8月に供用を開始した岩間駅の橋上駅舎、自由通路整備費、周辺の道路整備の総額は約29億円。

また、この事業は、都市整備課内で既に関係機関との調整等を行っているため、プロジェクトチームの設置はせず、都市整備課が担当していく。

**Q** 市総合計画後期基本計画策定のための市民アンケート結果を踏まえ、今後の市の方針は。

**A 市長公室長** 前期基本計画策定時と比較できるように、同一の調査を行った。結果は、「生活道路の整備」や「豊かな心をはぐくむ教育の充実」、「茨城空港を生かした施策」、これらを進める上で重要な市民参画では、市長や議員との懇談を望む声が多かった。これらを踏まえ、団体ヒアリングや市民の皆さんからご意見をいただく機会を設け、より合理的な方法で、市民参画による市民協働のまちづくりを進めていきたい。

### Q 防災行政無線放送整備事業の進捗状況等は

**A 市民生活部長** 美野里地区に9,000個の設置を予定しているが、8月末現在で6,272件(回収率60.8%)の回答となっている。設置希望の申請が上がらないのは、賃貸住宅のためや居住期間が短い等の理由があるが、回答漏れが生じないよう、今後も周知徹底を図り、補助期間の有利な条件のもと設置ができるよう進めたい。

現在の状況は、防衛省の補助金を財源に手続きを進め、9月7日に交付決定となった。今後、入札契約業者と調整を図り、早急に工事を実施していきたい。

また、今回整備する戸別受信機は、録音機能のほか、地震や武力攻撃などの災害時に、国から送られてくる緊急の情報を瞬時に伝達することのできる「ジェイ・アラート(全国瞬時警報システム)」の情報も放送されることになっている。

ビュッフェスタイル?・・・いわゆるバイキング形式で、料理提供台まで行って客自身が皿に盛り付け、自分のテーブルに運んで食べるスタイルのこと。

## 市民が納得する「空の駅」を!

### 十分意見を聴き、26年2月の開業をめざす

**Q**「空の駅」整備事業を着々と進められているが、多額の事業費を投入する事業なので、安易な考えのもと早期完成を目指すべきではない。たとえオープンが遅れても、多くの意見を聞き、緻密な計画のもと、市民が納得する「空の駅」を完成させるべきであると考えるが。

至 茨城空港



「空の駅」建設予定地（山野地内）

**A** 産業経済部長 事業を理解してもらうための説明会を10月末まで毎週水曜日に行い、市民との意見交換を行っていききたい。また、その後も出前講座や女性対象のワークショップ等の開催、直売施設と物販施設の説明や研修会を行っていく予定。建物の完成予定は25年12月頃に、その後、開設準備期間を設け、26年2月頃にオープンしたい。

### 〇年間集客数及び収支計画の根拠について

**A** 産業経済部長 年間集客

数は、約23万人を想定。その根拠は、県道茨城空港線の計画交通量が1日あたり1万2,900台、空港見学者が年間61万5,000人（1日650人程度の利用者）からの立ち寄り率としている。収支計画は、約800万円の黒字（表1）となる計画。その根拠は、8キロ圏と30キロ圏2つの商圏内の世帯における1カ月の消費支出のうち食料費の占める割合をもとに算出。そして8キロ圏内の世帯が2月に1回、30キロ圏内の世帯が1年に1回来場した場合を想定して計算され、売上は2億6,700万円。加工施設の収支は、今後決定する入居者によるものと考えられるが、市は、中小企業診断士による試算を行い、施設規模、立地条件等から売り上げを年間



中根 要樹

2億5,000万円程度と見込んでいる。

### 〇各施設の利用計画・利用料金は

**A** 産業経済部長 直売施設は、小美玉市特産の安心で安全な農畜産物を中心に販売。物販施設は、市内をはじめ県内のクオリティが高いモノを販売。レストランは、「地産地消」の実践の場として地域のひとと食材で小美玉の味を作り出し、ビュッフェスタイルで提供。チャレンジショップは、高い

を始めている人を応援、飲食と物販店舗の2種類を市民から募集。その他、多目的室は、会議、講習、団体客用等に。ウエルカムセンターは、空の駅管理施設で、おもてなし機能を備え、市の魅力や市民の活動を紹介。乳製品加工施設は、市の盛んな農畜産業を生かした「小美玉ブランド開発工房」で、モノづくりの工程が間近で見られ、出来たてを味わえ、体験ができる計画。

利用料金は、整備金額が確定していないため類推金額を設定。経営の安定と賃借料の確実な支払いが行われるよう、基本料金と加算料金をの2段階の徴収を検討している。

(表1) 収支計画 (24年9月現在の試算)

単位：万円

[収入]	使用料（空の駅分）	2,900
	〃（加工施設分）	2,100
	計	5,000
[支出]	人件費及び施設管理費	4,200

※差し引き 5,000 - 4,200 = 800万円の黒字

医療センター、新指定管理者と適正な協定を

しっかり協議し、協定を進める



関口 輝門

**A 保健福祉部長** 古宿会からは、現在の医療センターで行っている外来診療を基本とした診療科目の提案と、入院病棟も現在の一般病棟（80床）を使っていくという提案をいただいた。更に、人間ドック等の健診業務や市民のための予防医療に力を入れ、当然必要となる医師

**Q** 医療センターの指定管理者を「幕内会」は断念した。今後の指定管理者に、市は一般公募のあった2団体のうちから「古宿会」を選定した。協定締結を含めた採用の基本的な考え方は。



25年度から新たな指定管理者により運営される 小美玉市医療センター

の数についても常勤医師6名と、不足を非常勤医師で対応していく提案があり、このようなことが評価され採用につながったものと考えられる。指定管理料は、当初の提案どおり初年度2億円、次年度から1億5,000万円ずつとし、その代わり、医療機器更新の要請は一切受け入れないことが、市の将来的な負担の抑制につながるかと考え、全ての医療機器の更新や設置は、指定管理者が行うこととしている。

**Q 指定管理者評価選定方法に疑問、今後のあり方は**

**A 副市長** 指定管理者候補者の選定は、市の条例、規則や指針により進めてきた。候補者選定は、選定委員会で行っているが、公平な選定を確保するため、選定委員会の委員が、直接、運営方針などに対する応募団体からの説明を受け、質問を投げかけるといった場を設けており、今回、委員の質問が尽きるまで確認作業を行ったが、提案書の相異点を見出す前段の議論不足との指摘を受けたので、今後は、過去の案件も含め、更なる適正な選定方法を検証したい。

**○** 貴重な税財源の投入から、内容を熟知し、参画過程を踏まえた協定を結んでいただきたい。

**Q 「空の駅」整備事業に関わる集客策と、施設等の公募条件の具体策は**

**A 産業経済部長** 本市こだわりの農産物や加工品等を揃え販売し、「空の駅」を拠点とした市民の活動や取り組みが集客を生み、市民の誇りとなるような事業展開を目指していきたい。具体的には、「地域再発見」・「地産地消」・「食育」といったキーワードをもとに、芝生広場での模擬店の開催、空のステージでの出演・発表、マルシェ広場でのカーマルシェの開催等を計画していく。市内に広げていく戦略としては、グリーンツーリズム、農家レストラン、農家民宿、サイクリングコースの設定など集客につなげていきたい。また、施設入居者の公募は、第3者の選定機関を設け、事業計画や収支計画を厳正に審査し決定。来年1月に選考委員会を立ち上げ、募集要項等をまとめ3月からテナントを募集し、5月には決定したい。

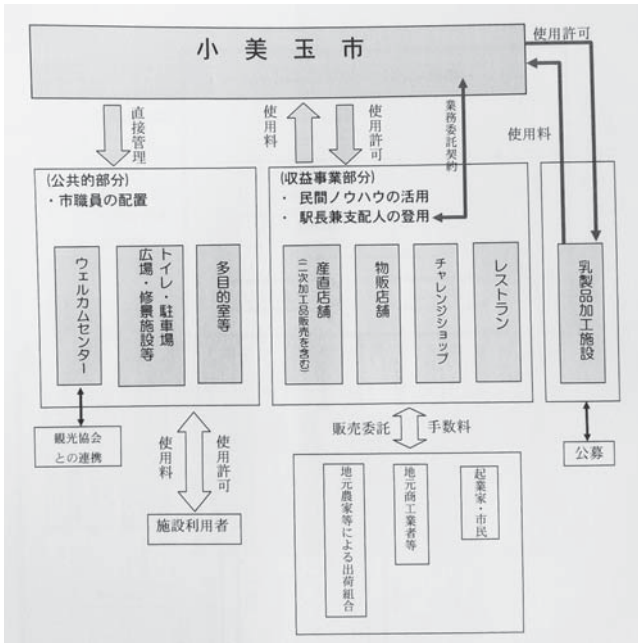
公募条件の1つである利用料は、空の駅の収益施設同様、基本使用料及び加算使用料を設定し、売り上げの高低による影響を回避するため現在検討している。

医療センターの基本的指標を設けるべき

旧国保中央病院の医療を指標としている

Q 新指定管理者が内定し、医療センターが継続することになった。地域医療ということで指定管理料が初年度で2億円、次年度から1億5,000万円という多額の税金が投入される。一定の医療の水準を確保しながら税金の使用は少なくすべきではないか。そのため一定の指標を設けるべきと考えるが。

A 副市長 医療センターの運営の原点、基本は旧国保中央病院が担ってきた地域医療の存続と充実で、その運営実績が指標となっている。



指定管理料を当初2億円、その後各年度1億5,000万円ずつとしているので、一応の目安としている。

また、指定管理者の指定期間は10年としているが、5年を目安に、そのときの社会情勢などにより見直しを行えること



戸田 見成

としているので、医療センターの経営に対する方向性を確認し、将来を見据えた運営につなげていきたい。

○地域医療ということである程度お金を出すのはやむを得ないと思うが、どの程度まで出すかの限度を明確にしていきたい。

Q 「空の駅」の内容は

A 産業経済部長 経営方式は、開業当初は市の直営とし、時期を見据え、第3セクターによる指定管理に移行したい。収支は、市が収益事業部分からの施設使用料を徴収し、施設の維持管理を行っていく。収益事業は、直売施設、物販施設、レストラン、チャレンジショップの運営と、イベントを開催等で集客を図り売り上げアップにつなげていきたい。

○税金を使うので、市民の理解を

得られるようしっかりとした計画をお願いしたい。

Q サッカー場計画を「中止しない」といわれるが、今後は

A 市長 凍結の状態の中で、今後どうすればよいのか、議員とよく協議していく。

○我々議員も協力を惜しまないので、サッカー計画のあった場所に別な計画を立て、進めていただきたい。



八幡池 (先後地内)



# 先進地に学ぶ

## 各常任委員会・特別委員会視察報告

産業建設常任委員会  
百里基地・茨城空港特別  
委員会合同

◆視察日：7月17日～18日

◆委員：田村・笹目・木名瀬・市村・戸田・萩原・小川・藤井・山本・長島・谷仲

◆視察先・内容

① 駅橋上化の取り組み

(北海道札幌市)

24年に駅舎橋上化供用開始した札幌市「白石駅」を視察した。市は、駅周辺地区街づくり協議会を立ち上げ、地域住民とともにワークショップ、講演会、アンケート調査等を行い、計画を策定している。本市のJR羽鳥駅の利便性の向上と、駅前広場にふさわしい賑わい空間の創出、防災・憩いの場としての広場機能の強化など再整備するうえで参考とした。



(白石駅舎前にて)

② 空港活性化の取り組み

(北海道札幌市)

地方空港として長年活性化のための取り組みを行っている丘珠空港おおかだの取り組みを視察した。空港で定期的な就航先の産直市や子どもからお年寄りまで楽しめるイベント、講座等を行い、賑わいの創出、航空利用者の獲得につなげている。本市の茨城空港が地域に根付くための、航空機の安定運航・旅客の利便性向上施策の参考とした。

## 文教福祉常任委員会

◆視察日：7月4日～5日

◆委員：萩原・中根・荒川・中村・戸田・藤井・福島

◆視察先・内容

① 子育て支援の推進

(兵庫県三木市)

三木市独自で実施している子育て支援事業の事例、「みきっこねつ」との配信と、事業主子育て支援事業補助金制度について研修した。「みきっこねつ」は、子育て支援情報などを掲載した携帯電話用のインターネットサイトで、メールマガジン登録者には月2回、小児医療やイベントなどの情報を配信。

② 小中一貫教育の推進

(大阪府池田市)

池田市では、小中一貫教育を推進し、小中9年間を通じた教育をすることにより、子どもの能力を伸ばし、学年を超えた活動による人間性の育成や中1ギャップなどの解消につなげている。20年度から小中一貫教育の研究を始め、23年度には全中学校区で取り組んでいる。また、現在、小学1年生から中学3年生までの児童生徒が一つの学校に在籍できる校舎一体型整備事業が、一部地区において進められ、その経緯についても研修した。



子育て支援事業について学ぶ (三木市役所にて)

広報特別委員会

- ◆視察日：8月7日～8日
- ◆委員：小川・中根・戸田・関口・福島・長島・谷仲
- ◆視察先・内容
- 議会広報の編集方針と魅力ある広報紙づくり

(①京都市木津川市  
②京都府南山城村)

どちらの議会も、委員が広報編集の全作業（印刷は除く）を行い、編集姿勢、技術ともに優れていると評されているところ。

①木津川市議会広報の特徴は、議決結果を議案ごとに賛否数を明記し、賛否が分かれた議案については、議員別の賛否を一覧表で公開していること。また、シリーズ企画「わたしの意見」で、市民の意見を氏名と顔写真入りで掲載していること。次回の定例会の全ての予定を掲載していること等。編集方針は、特にないそうだが、審議内容を市民にわかりやすく丁寧に伝えることを心がけている。

②南山城村議会広報の特徴は、議会のごきぎを伝え、単なる報告ではなく、議会が行政を動かしたと



編集委員との意見交換（南山城村役場にて）

いう内容を最初のページに掲載していること。また、住民が、表紙（写真）↓見出し↓文章の順に見ていくことから、住民に手にとってもらえるよう、特に表紙（写真）を大事にしていること等。表紙の写真にかける意気込みと、簡潔な見出しと文章、「行政側の介入はいらない。議会側が市民に伝えたいこと、書きたいことを書く」という強い姿勢があった。

議会運営委員会  
新市建設計画推進特別  
委員会 合同

- ◆視察日：10月3日～4日
- ◆委員：関口・加藤・村田・戸田・荒川・中村・木名瀬・田村・笹目・萩原・小川・福島・岩本
- ◆視察先・内容
- ①防災施設を備えた公園整備

(大阪府高槻市)

古曾部<sup>こそべ</sup>防災公園は高槻市北部の防災拠点として22年に整備された。4.5haの敷地には体育館、野球場、多目的広場が整備され、災害時には周辺住民の避難所となる。多目的広場は、緊急用のヘリポートになるほか、100トンの飲み水を確保できる耐震性貯水槽やかまどベンチ、緊急用トイレなどが設置されている。また、大型遊具やパーゴラ（日陰棚）は、テントをつけるのと救護施設等に利用できるといふ。体育館の中にある災害備蓄倉庫には、食糧や毛布などが備えられており、いつおこるか分からない災害への対策が充分図られていた。

②議会改革の推進（京都市亀岡市）  
亀岡市議会の議会改革の取り組み組



かまどベンチのある古曾部防災公園（高槻市）

みは、平成10年から始まり、その集大成として22年に議会基本条例を制定した。条例の特色は、市民との関わりを深く持てるよう、議会報告会を定期的で開催することや、請願・陳情者の意見陳述を求めることなどを盛り込んでいるほか、議員間の自由討議、市長等への反問権の付与を規定している。議会報告会は、毎定例会終了後に地域に向き、議決案件の報告、市民との意見交換などの内容で実施している。議員が市民の声を直に聞くことで、市政への対応が素早くできると同時に、市民が議会を身近に感じてもらえるようになったなど、改革の効果について研修した。

## 第25回プレゼントクイズ

\*答えは議会広報 第27号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、みのりの森のレストラン“キャトルセゾン”（四季の里内）のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 平成24年第3回定例会で審議された議案等は全部で〇〇件？

問② 9月から4～5カ月児の健診時に絵本をプレゼントする〇〇〇スタートが開始されます？

問③ 次回の平成24年第4回定例会の開会日は12月〇日？

### ◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。  
また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

### ◇応募〆切

平成24年11月28日（水）まで \*当日消印有効

### ◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX：0299-48-1199 Eメール：gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

## 第24回クイズの当選者

26通のご応募をいただきました。  
当選者は以下の方々です。

渡邊 富子 さん	大枝佐江子 さん
鬼澤 チヨ さん	高須 孝子 さん
村上みさ子 さん	沢上 恵里 さん
市村 初伊 さん	谷仲 可江 さん
白田 夕紀 さん	常谷 宗吉 さん

## 第24回クイズの正解

問① 平成24年第2回定例会の全議案数は？

[答 → 24件]

問② 6月定例会から一般質問が〇〇〇〇方式に変更？

[答 → 一問一答]

問③ 第3回定例会の開会日は？

[答 → 9月6日]

## 皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 退職して、広報の内容に興味を持ち楽しみにしています。毎号、一般質問者の顔ぶれが同じように見えます。市民の代表議員さん、暑さに負けずファイト！楽しみにしています。（高崎・女性）
- ▶ 空の駅（H25年9月の開業予定）期待しています。外国の方にも喜べるものにしてください。（三箇・男性）
- ▶ 小美玉市には65歳以上の一人暮らしが654人もいることに驚きました。そして、孤独死や孤立死を防ぐためにいろいろな対策を行っていること、そのいくつかを私も受けており感謝しています。最後まで小美玉市の住民でいようと思っています。（羽鳥・女性）
- ▶ 孤独死、孤立死を防ぐための対策について、とてもよい取り組みだと思います。一人暮らしの高齢者が安心できるようにいろんな方々の力に支えられ、また交流の場をつくることも大切だと思います。（栗又四ヶ・女性）
- ▶ 市役所に行ったついでに（議会の）オアシスをのぞいてきました。よく手入れされていて、なごやかな気分が帰って来られました。（羽刈・女性）
- ▶ 議会広報、毎号興味深く読ませていただいております。一般質問とその応答は非常にわかりやすく書かれており、編集の方々のご苦労が偲ばれます。表紙を見るのもいつも楽しみの1つです。（山野・女性）
- ▶ 5月末に日立から小美玉市に引っ越してきました。街中どこへ行っても緑が美しく何を見ても新鮮です。特に野菜が美味しいです。（野田・男性）

ご意見・ご感想をお待ちしています

## ◆ 次の定例会は 12月5日（水）に開会します!!

議会は、簡単な受付（氏名・住所等の記入）で傍聴することができます。  
傍聴は、定例会（本会議）のみになりますが、多くの方が傍聴に来られています。  
議場は本庁舎3階にあります。また、議場内での傍聴以外にも、本庁舎・各総合支所に設置してあるTVモニターで、議会本会議中の様子が自由にご覧いただけます。

## ■ 12月定例会予定

定例会 日 程	会議等の主な内容	傍 聴	
		議 場	モニター 中継
12月5日 (水)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
10日 (月)	本会議（～11日） (一般質問、議案質疑)	可	有
12日 (水)	常任委員会（～14日）	要確認	無
17日 (月)	特別委員会（～19日）	要確認	無
20日 (木)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有



▲ 本庁舎の1階と3階、各総合支所の1階ロビーにTVモニターを設置しています。

## 議会の緑のカーテン

(本庁舎3階)



～ 昨年はアサガオで、今年はゴーヤで「緑のカーテン」をつくりました! ～

## ◆ 産業建設常任委員会による 認定道路の確認



(9月18日 羽鳥地内)

## 編集後記

暑かった夏も終り、さわやかな秋を感じる。世情はさまざま不協和音の環境の中、決算議会が終わりました。

市の財政は、財政健全化判断による一般財源の余裕度を示す経常収支比率は、22年度全国10位、23年度全国2位と健全数値を誇り、公債比率も好数値を示している。

その要因を分析理解し、景況感著しく悪い中、歳入の減退を鑑み、数値に甘んじることなく、より一層の健全な財政運営を求めなければならぬ。

市総合計画の事業建設は、市民の声を最優先し、将来の財政負担をにらみながら、吟味・詮議により切磋琢磨し、議論を尽くすべきと考える。開かれた議会を目指し、市民の声を反映できる環境で、議員の役割を肝に銘じ活動してまいります。

発行編集責任者

議長 村田 春男

副委員長 小川 賢治  
委員 中根 要樹  
委員 戸田 見成  
委員 関口 輝門  
委員 福島ヤヨヒ  
委員 長島 幸男  
委員 谷仲 和雄

(関口)